

平成 30 年

郡山市教育委員会

10 月定例会議事録

平成 30 年 郡山市教育委員会 10 月定例会議事録

日 時	平成 30 年 10 月 25 日 (木) 午後 1 時 30 分	
場 所	郡山市教育委員会室 (郡山市役所本庁舎 5 階)	
出席委員	教 育 長 小 野 義 明	教 育 長 阿 部 亜 巳 職務代理者
	委 員 今 泉 玲 子	委 員 阿 部 晃 造
	委 員 藤 田 浩 志	委 員 田 中 里 香
出席者	教育総務部長 学校教育部長 教育総務部次長兼総務課長 学校教育部次長 ((併) こども部次長) こども部次長 ((併) 学校教育部次長) 中央図書館長 教育総務部参事兼美術館長 学校管理課長 学校教育推進課長 教育研修センター所長 総合教育支援センター所長 教育総務部総務課長補佐 学校管理課長補佐 生涯学習課長補佐 中央公民館主任主査 文化振興課主任主査兼文化財保護係長 総務課主任主査兼総務管理係長	野 崎 弘 志 早 崎 保 夫 馬 場 章 光 橋 本 裕 樹 熊 田 仁 熊 坂 則 男 佐 治 ゆかり 小 山 健 幸 半 沢 一 寛 村 上 文 生 高 山 良 勝 大 澤 修 一 小 野 貴 裕 青 柳 光 信 伊 藤 聡 一 道 山 彰 古 川 誠
	書 記	青 木 千 絵

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長の報告
- 4 議 事
- 5 そ の 他
（1）郡山市の教育に関するアンケートの集計結果について
- 6 各課報告
- 7 閉 会

教 育 長 只今から、郡山市教育委員会平成30年10月定例会を開会いたします。
本日は、欠席委員がございませんので、本定例会は成立いたします。
はじめに、私から一言申し上げます。

去る平成30年10月1日に、阿部亜巳委員が教育委員の1期目の任期を終えられました。これに伴い、平成30年郡山市議会9月定例会最終日に、阿部亜巳委員の再任について議決がなされ、10月2日付けで、阿部亜巳委員が教育委員として再任されました。

また、併せまして、教育長職務代理者の職につきましても、同日付けで指名いたしましたので、改めてご報告いたします。今後ともよろしく願いいたします。

それでは、会を進めてまいります。はじめに、平成30年9月定例会の議事録の承認についてですが、何かご意見等はございますか。

(なし)

教 育 長 それでは、これより採決いたします。
平成30年9月定例会の議事録については、配付のとおり決定することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 ご異議なしと認め、そのように決しました。
次に、教育長報告として、私から報告いたします。
今回は、3件報告いたします。まず、1件目は「平成30年度市町村教育

委員会研究協議会（第1ブロック）について」でございます。平成30年10月15日（月）から16日（火）にかけて山形県山形市において開催されました。1日目は、文部科学省の職員による行政説明と、基調講演及びパネルディスカッションが行われました。また2日目には、事例発表と研究会議が開かれ、私は第2分科会「外国語教育の充実」に出席してまいりました。内容等につきましては資料に記載のとおりでございます。

次に、2件目として「平成30年度福島県都市教育長協議会について」報告いたします。平成30年10月17日（水）から18日（木）にかけて、二本松市において開催され、出席してまいりました。会議等の内容につきましては、資料に記載のとおりでございますので、ご覧いただきたいと思っております。

最後に、3件目は「学校訪問について」報告いたします。平成30年10月19日（金）に白岩小学校、24日（水）に大成小学校を訪問してまいりました。いずれの学校におきましても、子どもたちが生き生きと学習に取り組んでおりました。また、各学校の先生方においては、アクティブラーニングの指導のあり方等について、授業の改善に努めており、大変心強く感じました。現在、学校管理課及び学校教育推進課において、計画的に学校訪問を進めているところでございます。教育委員会として、これからも各学校を支援していきたいと思っております。

以上でございます。

それでは、次に「4 議事」に入りますが、本定例会には、提出議案がございませんので、次の「5 その他」に入ります。

それでは「(1) 郡山市の教育に関するアンケートの集計結果について」事務局の説明を求めます。

教育総務部次長

それでは、「(1) 郡山市の教育に関するアンケートの集計結果について」ご説明します。

郡山市教育委員会においては、平成26年度に第2期郡山市教育振興基本計画を策定し、その計画期間を平成27年度から平成31年度までの5か年と定めております。本計画については、学校教育、生涯学習、文化、スポーツの4分野において、様々な施策を推進しているところでございます。来年度行われる、第3期郡山市教育振興基本計画の策定に向けて、市民の皆様のご意見、ご要望、教育に関するニーズについて集約するため、8月から9月にかけてアンケートを実施しましたので、その結果についてご報告申し上げます。

まず調査概要についてでございますが、調査対象につきましては、無作為抽出による市内在住の18歳以上の男女約3,000人、未就学児童の保護者

約 1,000 人、市立の学校に通う小学 5 年生及び中学 2 年生の児童生徒の保護者約 1,800 人を対象に実施いたしました。調査内容につきましては、「学校教育」、「生涯学習」、「文化」、「スポーツ」の 4 つの分野それぞれに対し、「現在の取組みに関する満足度」や、「特に重点的に取り組んでほしい施策・事業の項目」などについて調査を実施いたしました。

次に、結果概要についてですが、まず回答率につきましては、一般市民の方をはじめ、未就学児及び小中学校の児童生徒の保護者、ネットモニターを含め、全体的には、56.6%となりました。回答結果についてでございますが、各分野とも「満足」、「どちらかといえば満足」の合計割合が、「不満」、「どちらかといえば不満」の合計割合の約 2.7 倍～5.2 倍となっており、満足度については、高い結果となったと考えております。その一方、学校教育分野以外の、他の 3 分野につきましては、「特に重点的に取り組んでほしい施策」に対し、無回答の割合が高く、関心度が低い結果になったと考えております。また、どの分野においても、「わからない」の選択割合が非常に高く、情報発信や PR 不足も 1 つの要因ではないかと考えております。

次に回答者について、まず回答者の年齢構成についてですが、30 代と 40 代で全体の 70%を超える割合となりました。これについては、未就学児及び小中学校の児童生徒の保護者からの回答率が高かったことによるものと考えられます。性別の割合につきましては、女性の割合が約 80%となり、これは、未就学児及び市立学校の児童生徒の保護者のうち、母親が回答した割合が高かったことによるものと考えております。また、居住年数、居住地域については資料に記載のとおりでございます。

次に、各分野への満足度についてご説明します。先ほど申し上げましたとおり、各分野において、「満足」、「どちらかといえば満足」の割合が約 27～36%を占めており、これは「不満」、「どちらかといえば不満」の割合の約 5～10%よりもかなり高い割合となっております。ただ、「わからない」を選択した方の割合も約 20～40%と、低くない数字となっております。

次に、「特に重点的に取り組んでほしいことについて」ですが、こちらにつきましては、現計画の施策を基に、特に重点的に取り組んでほしい施策について選択をしていただきました。また、現計画に記載している全施策に係る、全事業についてもそれぞれ選択をしていただいたものでございます。まず学校教育の分野において、施策については「豊かな心の育成」、事業については「道徳教育の充実」への期待度が最も高い結果となりました。次に生涯学習の分野では、施策については「子供の良好な成育環境の確保」、事業については「安全・安心な居場所づくり」への期待度が最も高い結果となりました。文化の分野におきましては、施策については「郡山市の歴

史を身近に感じられる環境の醸成」、事業については「郷土資料の保存と効果的な活用」への期待度が最も高い結果となりました。最後にスポーツ分野におきましては、施策については「健康とスポーツのための施設整備」、事業については「スポーツ施設、設備等の整備」への期待度が最も高い結果となりました。各分野における期待度が最も高い項目については、今申し上げたとおりでございますが、他の項目につきましても、各所属と共有したいと考えております。

今後についてですが、第3期教育振興基本計画の策定に向けて平成31年度に教育振興基本計画審議会を立ち上げ、その中で、これらアンケートの結果を活用し、有識者の皆様の専門的なご意見をいただきながら、計画策定を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

教 育 長 委員の皆様、質問等ございますか。

阿部職務代理者 このアンケート票を実際に拝見して感じたことですが、質問文や選択肢の中に教育的な専門用語が多く、一般市民の方や保護者の方は、なかなか答えにくかったのではないかと思います。そのことが、集計結果の「どちらともいえない」や「わからない」の回答が多かったことにつながっているのではないかと思います。「どちらともいえない」や「わからない」を選択した方々にも、個別に「ここがもっとこうだったらいいのに」という気持ちがあると思うのですが、それをアンケートの中のどの項目で書けばいいのかなど、回答がしにくかったのではないのでしょうか。

今後こういったアンケートを実施する場合には、用語に配慮して実施した方が、より具体的な意見や回答が集まりやすいのではと思います。

今 泉 委 員 アンケート票の「6 郡山市の教育全般について」の自由記述欄には、どういったご意見がありましたか。

教育総務部次長 意見としましては、「施策がわからない」というご意見や、その他個人的なご意見等もございましたので、そちらについても別途まとめ、各所属へも共有したい思っております。

藤 田 委 員 特にスポーツ分野において「スポーツ施設、設備等の整備」が期待されているということでしたが、実際の状況を把握することが重要だと思います。例えば、公民館等も含めてスポーツ施設として、「予約を取りたくても

なかなか取れない」という状況がどこにでも起こっているのであれば、これは早急に取り組まなければならないことであると考えます。しかし、稼働率が低いにも関わらずこういった意見が出るのであれば、それは情報発信の仕方の問題となってくると思います。そういった市民の方の要望と各施設の実状との照らし合わせについては、どのようにお考えでしょうか。

教育総務部次長 公民館に関しては、確かに平日の昼間の稼働率がそれほど高くない施設もございます。ただ、施設によっては、大きな体育館を持っている施設もございますので、そういった施設に関しましては、稼働率が高いところもございます。

今後につきましては、新しい施設を作ることも大切ですが、まずは、今ある既存の施設を長寿命化改修していこうという方向で考えておりますので、稼働率も見ながら、設備についても更新をしていきたいと考えております。

藤田委員 施設・設備等の整備への意見が出てくるということは、恐らくスポーツをやりたいという思いの方がたくさんいらっしゃるということだと思えます。ですので、例えば、「こういうスポーツをやりたい」といったようなご意見を集約して、「それに対してはこういった施設が適しています」とか、あるいは「今ここの施設が空いていますので、他地域からでもどうぞ」というように効率よく配分していければ、市民の方々の満足度も、各施設の稼働率も上がっていくのではないのでしょうか。ただ数字で判断するのではなくで、こういったニーズがあるのか、それらのニーズに合致する施設なのかというところのマッチングも重要だと感じます。

これはスポーツ分野に限らず学校教育の分野などでも言えることだと思いますので、現在の状況を精査して、今ある施設を上手に使っていければ、コストも安く済むのではないかと思います。

阿部委員 一般市民の方はどのように抽出したのですか。

教育総務部次長 ソーシャルメディア推進課に依頼をし、ある程度地区を割った中で18歳以上の方を対象に無作為に抽出させていただきました。対象となった方へは、アンケート票を郵送し、返信用封筒に入れて投函していただいたという形になります。

阿部委員 一般市民の方の回答率はやはり25%くらいになってしまうものなのでし

ようか。

教育総務部次長 前回、平成25年度にアンケートを実施した際にも、大体同じくらいのパーセンテージになり、他の計画等を作る際の回答率についても、一般市民の方に関しては、大体25%から30%くらいの回答率になると思っております。そのほかの回答対象者の方に関しましては、児童生徒の保護者の方など、ある程度特定されている方ですので、かなり回答率が高くなっており、こちらについても前回と同じような回答率となっています。

教 育 長 他に質問等ございませんか。

(なし)

教 育 長 それでは、次に「6 各課報告」に入ります。

(各所属、下表案件について報告。)

No	所属名	件名
1	生涯学習課	・第71回優良公民館表彰受賞について
2	中央公民館	・ナイトカレッジ「10年後の自分を考える」について
		・市民大学講座について
		・「こおりやま吟剣詩舞の祭典 2018」について
		・市民大学講座「元号を識る」について
		・はやま一ゼ教室(冬)について
		・秋から始める編み物講座について
3	中央図書館	・リサイクルブックフェア実施報告について
		・読書週間行事について
		・車イス利用者等支援サービス(アンサーユー)について
4	美術館	・企画展「眼の人 今泉亀撒のコレクション」について

		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 2 回アートテーク「美術館の楽しみ」について ・平成 30 年度常設展示第 2 期について ・平成 30 年度ジュニア・インターンシップについて
5	教育研修センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月教職員研修講座等の実施状況について
6	総合教育支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度幼・保・小連携推進事業 第 2 回相互参観について ・平成 30 年度幼・保・小連携推進事業 第 4 回合同研修会について
7	文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・正直古墳群「正直 21 号墳」現地説明会実施報告について

教 育 長 以上で、本定例会に提出された案件は以上であります。
 その他、委員の皆様、事務局から何かありますでしょうか。

(なし)

教 育 長 無いようですので、郡山市教育委員会平成 30 年 10 月定例会を閉会いたします。

終了時刻 午後 2 時 25 分